

おの100と私～人のために行動する～

私はおの100に3年間参加して、「人のために行動する」ことを大切にできるようになりました。おの100に参加するまでの私は自己中心的な性格で、仲間のために頑張ることや仲間と一緒に行動することが苦手でした。しかし、おの100に参加したことによって私は多くの仲間の支えを感じ、仲間のために行動したいと想えるようになりました。

私は3年生でのおのみち100km挑戦隊で、班付きリーダー係りの係りリーダーに任命していただきました。自分が目指していた係りに任命していただいたのですが、いざ係りリーダーをやってみると、自分が思い描いていたようには進まず苦しいことが多かったです。苦しく心が折れそうな日々を過ごしましたが、私のことを信じて厳しい言葉をかけてくれた団長補佐、私の悩みを聞いてくれたサブリーダー、そして同じ班付きリーダー係りで頑張ってくれたメンバーなど多くの仲間が支えてくれました。そのような仲間の支えに感謝し、今度は自分が仲間を支え喜ばせることができるように頑張りたいと想い、私は人のために行動することを大切にするようになりました。

特に4年生になってからは、おの100で共に活動する仲間のために頑張りたいという想いが強くなりました。一緒に活動してくれる学生スタッフの存在を有り難いと感じ、一人一人の言動を観て、相手の成長につながるサポートをしようと考えていました。また4年生でのおのみち100km挑戦隊では、輸送&生活担当という宿泊地や食事の準備をする、いわゆる裏方の役割に任命していただきました。輸送&生活担当では子どもと直接関わる機会は少なかったですが、「宿泊地をきれいにしてお過ごしやすくしてあげよう」、「食事を笑顔で配って元気を届けよう」と、自分の役割の中で子どもたちのためにできることを考え行動できることに、大きなやりがいを見つけられました。

また「人のため」を想って行動を重ねていく中で、私自身も学び成長させていただけたと感じています。「人のため」に頑張りたいと想ったことによって、相手に自らの想いや考えが届くように伝え方を工夫するようになり、コーチングスキルを勉強することもありました。「人のために」頑張りたいという気持ちは、私自身が新たなことに挑戦できるきっかけになっていました。

人のために行動することは、私にとって最もやりがいを感じられるものになっています。現在私は小学校教諭をしており、担任するクラスの子どもたちが成長できるように何ができるのかを考え、行動する日々を送っています。また小学校教諭として過ごす中で、同僚の先生方の存在の有り難さを感じています。初任である私にはまだまだ分かっていないことが多くありますが、同僚の先生方が私にアドバイスをくださるおかげで、子どもたちのために頑張ることができています。温かく接してくださる同僚の先生方に感謝し、これからも子どもたちの成長のために教員として学び続ける姿勢を大切にします。

おの100に3年間参加し、おのみち100km挑戦隊をはじめ多くの体験をさせていただきました。そのような体験を通じて、自分自身に「やればできる」という自信をつけることができました。社会人1年目で不安なこともあります。おの100で得た学びを時には振り返って、「やればできる」という気持ちを大切に挑戦し続けたいです。おの100に関わってくださった皆さんに感謝し、これからも小学校教諭として、またおの100の社会人スタッフとしても、子どもたち・学生スタッフのために頑張っていきます。